



## 講座日程

①	東京 4/14 大阪 4/28 11:00~16:30	グループワークと講義 <b>エンゼルケア哲学!</b> エンゼルケアの歴史と 遺族の視点から探る意義 上野宗則 「エンゼルメイク・アカデミア」主宰	「エンゼルケアとは、人間の死に立ち会うとき、なにができるかを 都度考えること」。遺族を経験し、少なからず死に向き合ってきた者の 目線で、死後ケアの変遷と日本人の死生観を交えながら、「医療が死にかか わる意味」をちょっと哲学的にお話します。グループワークでは、参加者 相互が抱えているケアへの疑問や課題を明らかにしていきます。
②	東京 5/12 大阪 5/26 11:00~16:30	グループワーク&レッスンⅠ <b>エンゼルケアの手順と技術</b> 大垣麻里 株式会社沙羅 湯灌士	これまで習慣的に行われてきた「詰めもの」などの死後処置は、その後 のような状態にあり、ご家族はどのように受けとめているのでしょうか。 ご家族の思いに寄り添うケアの実践のために、退院後の遺体変化やご家 族の思いを知り、具体的な医療行為後のケア技術(ルート類抜去部位の ケアや滲出液への対応など)を学ぶプログラムです。
③	東京 6/9 大阪 6/23 11:00~16:30	グループワーク&レッスンⅡ <b>エンゼルメイクの手順と技術</b> 大垣麻里 株式会社沙羅 湯灌士	エンゼルメイクの基本から、男性メイク、黄疸メイクなど、メイクの すべてをグループレッスンを通して学んでいただけます。そのほか、 創部等へのポイントメイクや綿花を用いて顎を閉じる方法、ヘア スタイリング、ケアに活用できる生体用化粧品の知識など、ほかでは 得ることの出来ない、実践者ならではの方法やアイデアが惜しみなく 紹介されます。
④	東京 7/14 大阪 7/28 13:30~16:30	<b>説明できるエンゼルケア</b> 小林光恵 作家・エンゼルメイク研究会代表	死後の身体変化を踏まえた遺体管理法を取り入れ、保清や身だしなみの 整えを基本として、ご家族の意向に寄り添う「エンゼルケア」。寄り添 うケアを提供するには、「声かけ」や「説明」が必要です。一方的では ない、コミュニケーション・スキルをともなったケアのあり方を、事例 や具体例を掲げながらわかりやすく、やさしくご説明いただけます。
⑤	東京 8/4 大阪 8/25 13:30~16:30	特別講座 <b>看取る心 看取る言葉</b> 沼野尚美 ホスピスチャプレン・カウンセラー	ホスピスチャプレン・カウンセラーとして、死を迎える数多くの患者 さんやそのご家族の「心のケア」を担当された経験から、さまざまな 看取りの場面における「心と言葉」を熱く、やさしく、楽しくお話し いただく、あっという間の3時間です。先生の心、言葉、まなざし、 佇まい、エネルギーのすべてを感じ、癒され、ケアへの力を養いま しょう。
⑥	東京 9/8 大阪 9/22 13:30~16:30	<b>死のかかわりから、 何を学ぶか</b> 岩瀬博太郎 千葉大学大学院医学研究院附属 法医学教育研究センターセンター長 東京大学大学院医学系研究科法医学教室教授	法医学とは国民の権利維持を目的に作られた「法」が適正に執行され るように、人の死を医学的見地から省察する学問のこと。解剖が目的 なのではなく「人のいのちを大切に守る」ためにあるものです。臨床 とは異なる立場で“いのちにかかわる医療”の本質を知り、死への 援助のあり方のみならず、「医療とはなにか」を考える貴重な プログラムです。
⑦	東京 10/13 大阪 10/20 11:00~16:30	ランチとカフェをともに <b>“スローデス・カフェ”でつながろう</b> エンゼルケアへの小さなエール <b>死に立ち会うとき、できること</b> 上野宗則 「エンゼルメイク・アカデミア」主宰	人間の死に立ち会う経験は、医療者であるみなさんにどのような 意味をもたらすのでしょうか。半年に渡る学びの旅にもう一度向き 合っ、死へのかかわりだけではなく、日々のケア業務に変化と確 信をつくり出す、1dayセミナーです。ざっくばらんに死について語 り合うWS「スローデス・カフェ」、そして、「死に立ち会うときできる こと」をテーマに、ささやかなエールの言葉を贈ります。ランチと ケーキをともにしながら、参加者同志でふれあう、よい締めくりに しましょう。